

# タニガワのFST風管



画期的軟管  
**FASTEN!**

産業安全保護具一式製造販売

株式会社 谷沢製作所

〒104 東京都中央区銀座5-11-4(常磐興産ビル6F) ☎03(543) 9166

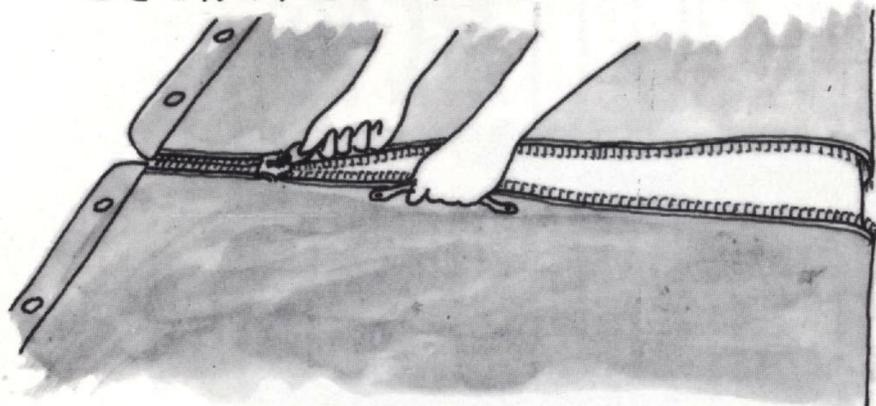
代理店(最寄り営業所)

# タニガワのFST風管 (自己不燃性)

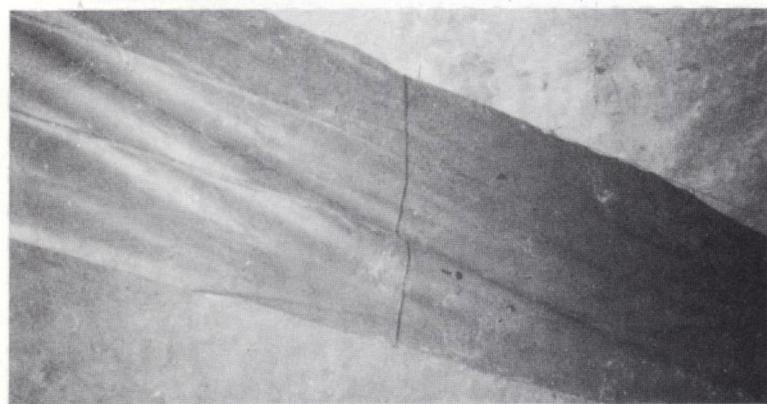
## ファスナーで接続する風管

■実用新案特許申請中

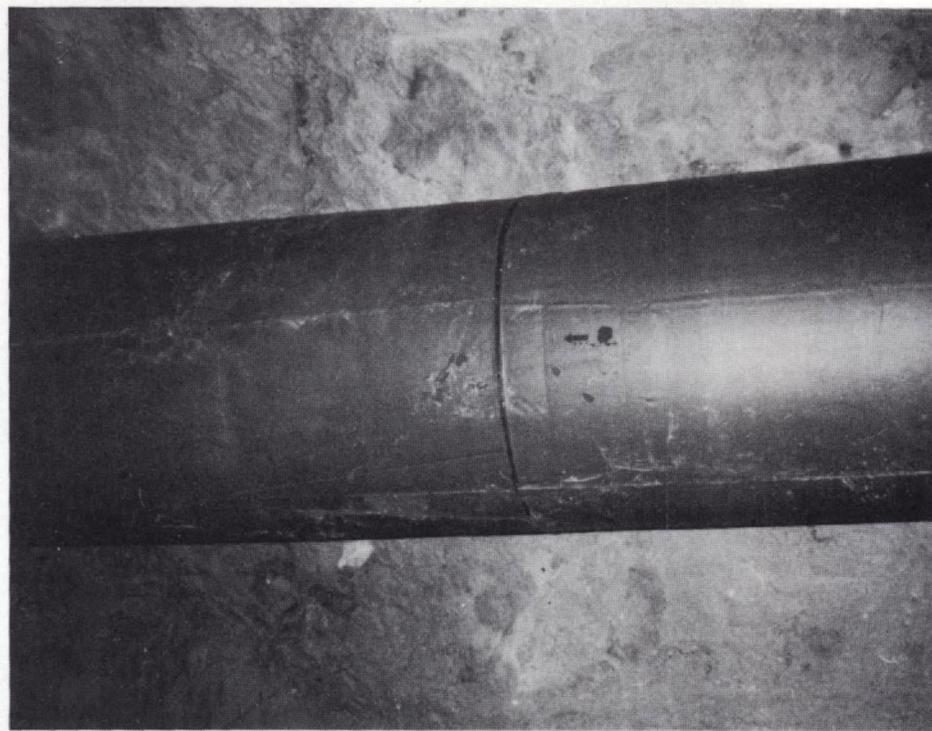
●とり付け、とりはずし時



●送風停止時



●使用時



## FST風管の特長

- ①スチールフォーマーの作業能率が飛躍的に上がる。
- ②換気のストップ時間を少なくできる。
- ③とり扱いが楽で、破損の機会が少なく、管理及び運用が容易である。
- ④きれいに吊れて圧力損失が少ない。

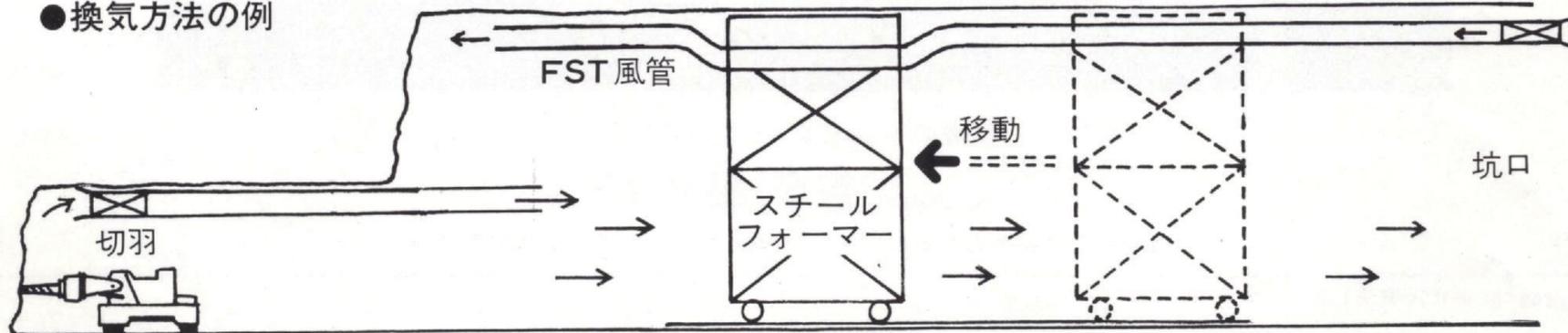
\*軟管の良さを生かし切ったFST風管をぜひお試し下さい。

トンネル工事は前進する切羽を、スチールフォーマー(セントル)が追いかけて行くが、それを毎日少しずつ前進させる度に、2~3時間かけて、換気用の風管の付けはずしをしなければならない。

これを**わずか数分**のスチールフォーマー移動時間のみで、換気機能を回復させたいというのが、このFST風管のできた動機であります。

これにより、作業能率は飛躍的に上がるばかりか、坑内換気の停止時間も短くなって、衛生上もプラスが大きい、といえます。ジョイント部は、一旦接続したら、外さないまま、最後まで作業を続けられます。風管には、鋼製リングがないため、**重量が20%も軽く**、取扱いも楽になります。特に1000φ前後の大口径の風管の際、従来は、これをトンネル上部に吊るし、またジョイント部を付け外しするのが大仕事でしたが、FST風管を使えば、それらの作業上の不便がすべて解消されます。取扱いが便利であれば破損も少なく、再使用が可能となります。風管は、きれいに吊れるので、圧力損失はずっと少なくなります。

●換気方法の例



●風管を付けたまま作業可能。